



株式会社兵殖は、令和4年に創業60周年を迎えた、県の水産業を牽引している代表的な企業の一つです。本県の令和4年度の養殖ブリ、養殖クロマグロの輸出額は県全体の約26%を占め、輸出先は北米を中心にアジア、EUと多岐にわたっています。

兵殖の養殖ブリ生産量は年間約170万尾であり、この数字は国内で消費されるブリの約10匹に1匹に該当するそうです。

懇談では、水産業が直面している課題等についてお話を伺うことができました。

昨今の燃料・飼料の高騰が経営を圧迫していること、また、輸出においては、国際情勢の影響を受け、国全体での養殖クロマグロ輸出の約30%を占める中国向けが完全に停止しているとのことでした。

そのほか、人手不足により人員の確保が困難であることや、外国人技能実習生制度において養殖業の洋上業務が適用されていないといった問題点等について、現状や課題をお聞きしました。

水産業は食を担う重要な産業であるとともに、成長産業でもあり、この魅力をもっと発信していくよう努力するとともに、いただいたご意見は取りまとめのうえ、国へしっかり意見したいとお伝えしました。



関連する県の施策

☆事業名：県産水産物流通拡大推進事業

事業概要：県産水産物の流通拡大を図るため、販促活動等により需要を確実に取り込むための取組を支援

【特】魚食普及に向けた学校給食での県産水産物の利用促進

【特】県内量販店での県産水産物消費拡大キャンペーンの実施など

予算額：3,217万円

☆事業名：養殖ブリ周年供給体制構築事業

事業概要：ブリ類養殖業の周年出荷体制を強化するため、端境期出荷に向けた人工種苗の安定供給体制を整備

【特】通常産卵期の4月と異なる8月に採卵した人工種苗を翌年春期に供給する体制の整備

【特】養殖期間短縮によるコスト削減効果を検証するため、9月以降に採卵した人工種苗の現地養殖試験を実施

予算額：6,665万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おいた創造挑戦枠事業」